

ピアノと笛が響き合う 感動のひととき

市民公演「西村由紀江with佐藤ぶん太コンサート」が行われ、市民ら約350人が訪れました。

コンサートは西村さんのオリジナル曲「予感」で幕を開け、ショパンの名曲をつなげた10曲メドレーも披露。優しくも力強いピアノの音色が会場を包みました。

中盤には津軽笛奏者の佐藤ぶん太さんが登場し、ピアノと笛が溶け合う美しいハーモニーを奏でました。佐藤さんの「登山囃子」に西村さんが即興で加わる場面もあり、観客から大きな拍手が送られました。

最後には「ふるさと」を全員で合唱し、会場が一体となって感動のフィナーレを迎えました。

木造地区から訪れた山本さんは「ピアノと笛がこんなにも合うとは。本当に感動した」と笑顔で話していました。



10/14
松の館

美しい音色で観客を魅了した西村さん(左)と佐藤さん

訓練通じて防災意識の高揚を図る

市では、岩木川浸水想定区域である柏地区住民を対象とした防災訓練を、柏小学校を会場として行いました。

本訓練は、災害時において関係機関が連携し、迅速かつ的確に対応できる防災体制の確立と、自助・共助を基本とする避難行動を習得し、市民の防災意識を高めることを目的としています。

この日、避難行動をはじめ、段ボールベッドの組み立てや簡易テントの設営、炊き出し、心肺蘇生(AED)体験など、多岐にわたる訓練が行われ、住民たちは真剣かつ楽しみながら防災についての理解を深めました。

訓練に参加した柏小5年の平川春瀬くんは「災害が起きたときは焦らず行動したい」と話しました。



10/19
柏小

段ボールベッドを組み立てる参加者



防災ヘリ「しらかみ」を使った救助訓練

食の支援を届ける 学校給食に白米寄贈

土木建築業と農業に従事する長内隆寛さん(稲垣町)が、市に白米850kgを寄贈しました。長内さんは令和4年から毎年市に白米を贈っています。

この日、目録贈呈式が行われ、長内さんは「生まれ育ち、日頃からお世話になっているつがる市になにかお返しをしたいと考え、コメの寄贈を始めた。できる限りつがる市の子どもたちに私たちが作った地元のコメを食べてほしい」と話しました。

倉光市長は「子どもたちに長内さんの気持ちが伝わるように使わせていただく」とお礼の言葉を述べました。

寄贈された白米は、市内の全小中学校の給食で活用されました。



10/20
市役所

倉光市長に目録を手渡す長内さん

地域ぐるみで防火を学ぶ

市幼少年女性防火委員会主催で「防火フェスティバル」が開催され、地域の皆さんが防火・防災への理解を深めました。屋内イベントでは、幼年消防クラブの子どもたちが元気いっぱいの歌やダンスを披露し、会場を盛り上げました。さらに、ミニ防火教室では、防火絵本の読み聞かせを通じて、「火の怖さ」「火を使うときの約束」を楽しく学びました。

屋外イベントでは、VR（バーチャル・リアリティ）消火器による消火体験や放水体験を実施し、親子で防火・防災について学ぶ貴重な機会となりました。

また、「お菓子の工藤」と共創により、「住宅用火災警報器10年たったら、とりカエル。」という啓発メッセージを込めたオリジナルスイーツ「シューケーキとりカエルくん（シュークリーム）」を子どもたちに配布。地域の力を合わせた温かいフェスティバルとなりました。



実際のホースを使った放水体験



シューケーキとりカエルくん

防災をテーマにした習字作品展を開催

市消防本部では、秋の火災予防運動の一環として、防災をテーマにした習字作品を募集し、市内7つの小学校から計272点の作品が寄せられ、その中から優秀作品18点が選ばれました。これらの作品は火災予防の啓発として10月20日から10月27日までイオンモールつがる柏にて展示されました。



■各賞受賞者（敬称略）

	金 賞			銀 賞			銅 賞		
1年「かじ」	向陽	工 藤 陽 登	柏	小 原 和 正	穂波	三 浦 悠 陽			
2年「みず」	向陽	野 呂 依 央	瑞穂	花 田 希乃佳	車力	工 藤 帆 夏			
3年「ぼうか」	向陽	近 藤 夕 蒼	向陽	一 戸 稀衣菜	車力	宮 崎 彩 良			
4年「消防」	穂波	乳 井 有 希	柏	伊 藤 妃 珠	柏	山 田 晴 喜			
5年「火の用心」	車力	佐々木 麗 乃	柏	三 上 朝 陽	車力	工 藤 心 愛			
6年「住宅防火」	向陽	一 戸 実衣菜	向陽	京 谷 春 陽	柏	古 坂 杏			

「瑞穂小20周年」「稲垣小10周年」節目祝う

瑞穂小学校(山館伸太郎校長)で、創立20周年記念式典が行われました。同小は平成18年に木造地区の9小学校が統合して開校。これまで807人が学び舎を巣立ちました。

山館校長は「よく学び、よく遊ぶ、おらんの瑞穂小の子どもたちが、将来この地に多くの豊かな実りをもたらしてくれることを望む」と式辞を述べ、倉光市長は「未来に向かって夢と希望を抱き、大きく羽ばたいてほしい」と祝辞を述べました。また、歴代の卒業生や教職員のコメントを取めた記念映像や、6年生による瑞穂小の歴史の振り返りなどが披露されました。

最後に、全校児童が「ありがとう20周年、おめでとう20周年」と元気いっぱいにお祝いの言葉を送りました。



10/25
瑞穂小

全校生徒による校歌斉唱



11/1
稲垣小

全校生徒による校歌斉唱

稲垣小学校(小枝晃嘉校長)で、統合10周年記念式典が行われました。同小は、平成27年に稲垣西小学校と統合して開校。これまで375人が学び舎を巣立ちました。

小枝校長は「今後も稲垣の未来を担う子どもたちを育てる教育活動を地域の皆さんとともに一日一日積み重ねていく」と式辞を述べ、倉光市長は「未来を担う児童の皆さんには、無限の可能性があります。この学び舎で好奇心旺盛に学び、失敗を恐れずに挑戦し、皆さんの経験を積んでください」と祝辞を述べました。

式典終了後、統合10周年を記念して子どもたちが制作した津軽凧を掲げる映像がスクリーンに映し出され、凧が揚がると会場から拍手と歓声が上がっていました。

歌や演奏で観客を魅了

牛潟公民館(小山内竹一館長)主催の「歌の祭典」が開催されました。上原げんと杯争奪のど自慢大会の優勝者をはじめ、総勢21人の歌い手が出演し、会場には地域住民ら約360人が訪れました。

この日、出演者は演歌や懐かしのヒット曲など、バラエティに富んだ楽曲を披露し、自慢の歌声を響かせ、会場は一体感に包まれました。

また、開演前と終演後、ブレイクタイムに行われたエレクトーン演奏やスコップ三味線演奏、「ツル多はげます会」の会員によるパフォーマンスも行われ、観客を楽しませました。

小山内館長は「今回は5回目の節目を迎え、感謝の気持ちを込めて開催した。歌仲間づくりや観客との交流など、人と人とのつながりを大事にしていきたい」と話しました。



10/26
牛潟公民館

自慢の歌声を披露する出演者
写真提供：東奥日報社

未来へつなぐ つがるアートフェス



表彰式で賞状を手にする優秀作品受賞者

■各賞受賞者（敬称略）

	グランプリ	準グランプリ		つがる市長特別賞
絵 画	中 村 千祈子 ①	鈴 木 匡 人	大 川 美菜子	工 藤 晶 ⑦ ※全作品の中から 1作品を選出
書 道	前 田 優 ②	楠 美 諒 青	成 田 侑 愛	
写 真	大 坂 和 仁 ③	尾 野 宏 裕	竹 谷 望 美	
	最優秀賞	優 秀 賞		
ポスター(小学生)	佐々木 悠 介 ④ (稲垣小2年)	成 田 寛 太 (森田小2年)	敦 賀 啓 仁 (柏小4年)	三 上 陽 大 (柏小1年)
ポスター(中学生)	須 藤 乃 愛 ⑤ (森田中2年)	天 間 莉里愛 (稲垣中1年)	成 田 一乃華 (稲垣中2年)	大 川 莉理愛 (柏中3年)
ポスター(高校生)	丹 代 ゆ ら ⑥ (木造高2年)			

■グランプリ作品



①絵画「しゃこちゃんからつなぐ未来へ つながる未来にエール」②書道「未来」③写真「水鏡の中の出来島」

■最優秀賞作品



④ポスター(小学生)「おいしいお米」⑤ポスター(中学生)「助け合い」⑥ポスター(高校生)「おいしいものがいっぱい つがる市」⑦ポスター「20XX年 つがる市の旅」

■つがる市長特別賞



ホームページ(QRコード)から優秀作品についてご覧になれます。

